

「防災・減災講座」のアンケート

1、今日の講座について参考になりましたか？（○をつけてください）

とても参考になった 27

ふつう 3

わからない 1 無記名 1

2、今日の講座で印象に残ったことがありましたか？

（実体験の本音の話は臨場感があった。忘れられない）

○本音の体験談・大変さ・臨場感が伝わりました。すべて印象に残りました。実際の状況が分かった。実体験、ご自身の言葉による本音のお話、ショックな部分もありましたが勉強になった。ドアを出ても絶対に忘れないです。涙なくして聞けませんでした

大変な思いをされたのに浦辺さんから本音で語っていただき有難うございました。被災した田舎の人が本音を聞けるまで 3 年かかりました。

今までに聞いた事のないことばかりで辛いことをよくお話してくれました（11）

（自助がすべて）・・・14 件

○自助がすべて、まず大事、まず自分が生き残れ、他人はどうでも良い、防災のむずかしさ

自分が行動していかなければダメだとの事、災害発生の際はまず自助、命あっての自分、自らの決断、まずは自分、自助が最優先である事。○各々出来る事出来る範囲で

○自助が大切と聞いたので、これから考えてみようと思います

（リスク管理として多くヒントを得て、多様な発想が出た）・・・19 件

○いかにイメージできるかが大事だと思います。例えば 10F のマンションの上層階に住んでいて下で火災が起きた時、どう逃げるか、普段の中でイメージすることが大事だと思っている。

○その場にいたら、何ができたか、起った事が理解できたか

○実際に被災したら訓練とは全く違う状況になる。

○とにかく情報を得たいと得なくてはという心境を強く感じました。

○毎日新聞の浦辺さんの記事を読み、是非聞きたいと思っていました。

○何事も自分の身にふりかからないと分からないものだ痛感した。

○あまりにも災害にあった後の国の対応、市区町村の対応が目に見えにくく、個人の立場からは何をしてもらえるのか大きな不安を覚えた。

○被災時に何を優先して行動するのか etc 改めて考えてみます

○誰しも「自分だけは大丈夫」と思って行動しないことの「なさけ」なさを感じた。

○今いろいろのところで異変が起きているので心配はしています。

○公の場所で多勢の人達が一緒に生活するにあたり、一番役立ち欲しているものが何かを災害にあった人達から詳しく聞いてあとのことに役立てたい。

○火事に備える

○お金が必要（2）

○多くのヒント頂きました。

○避難所での対応は勉強になりました。

○近隣の方々との交流もより深めて行けたら。

○地域の防災関連の仕事に活かさせて頂きたいと強く感じました。

○地域の防災力はつながりが大切。

○今日来ない人に伝えたいと思います。もっと大勢の方に耳に入りたい話でした。

○避難場所、備蓄倉庫等の選定の見直しが必要

（人間の複雑さ）

○被災者の人間模様が心に残った。

○人間は浅ましいものなのか（被災した人としなかった者の違い）

○本音の言葉は、一人ひとりの心の有りようは、難しいことを考えさせられた。

○最後の詩はさらに印象に残りました

○災害ユートピア ○人間関係 ○被害の無い人は翌日犬の散歩をしていた。

○役所の関係者のバランス、モラル⇒人間の本性と現実の対応

○粘り強く諦めないで、人のために働けるか、きれいごとでは済まない

（若い人の印象に残った事）

○想像しきれない怖さを感じました。（津波の後家を出て逃げる時、日本が沈んでいるのではないか、人が生

きているのではないか、ヘリの音で希望が持てたという状況に) 30 代女性

○当事者になってみないと分からないことがある。(30 代女性)

○自分たちが被災しているのに、他の人を助けられなかったことに大変重さを感じていらっしゃるのを知り、私も心苦しくなりました。年月が経ちましたが、今生きている人達がもっともっとあの時のことを知り、今後に生かしていかななくてはならないと痛感しました。(20 代女性)

○義援金の使途などの国からの説明報告ほしい!

(地域づくり)

○備蓄品が一番危ない所にある。

○災害貯蔵品・備蓄品の保存と配分の方法

○お話とバックの画面が一致して展開すれば一層よかったと思う。

○(質問) 今回の災害で死者の人数は。

3. 防災・減災の講演会で、取上げてほしい内容がありますか?

(☑をつけてください。複数回答可)

地震について (☐ 首都圏直下地震 1 0、☐ 南海トラフ地震 3、☐ 地震全般 6)

☐ 火災について 5 ☐ 津波について 2 ☐ 液状化現象について 6

☐ 災害避難所について 1 4 ☐ 帰宅困難者対策について 1 1

☐ 災害要援護者対策について 1 8 ☐ 耐震化について 3 ☐ 家具転倒防止について 1

☐ 防災訓練について 1 3 ☐ その他 ()

4. 防災・減災について、あなたのご意見をご自由に記入ください。

(まちづくりの課題) 1 2 件

○空家の増加について地域でも行政も手が出ていない状況です。どの所(自治会・行政等)が責任を持って取り組むか必要と思います。具体的に提案は機会を別にす予定です。

○横浜市は防災拠点への活動費(助成金)が少ない。平均 12 万円では拠点を強化することはできない。また、備蓄食品は一年毎に分割して補充し訓練時使えるようにしてほしい。

○災害とは実際に体験してみないと実感はわからないものですね。

○沢山の寄付金が一入ひとりに何の役になったのか分かりにくい。即その地域を助けるべきです。

○義援金等配分、使い方についての疑問○でも、やっぱり事前準備は必要ですね。

○隣近所の顔見知りをもくつくる共にささえられるといいな。危ない時に逃げる。

○他人事でなく、自分の見ているテレビが倒れないようにしましょう。

○自分の身を自分で守ることが一番なのは震災前より皆の心にあると思います。その心がけをきちんと育てて、やはり避難所の運営や行政のやるべきことをある程度決めておくことも必要と思っています。その練習をやっておくべきだと思います。

○他県に来て自立しようとする方に対してもっと何か役立てる政治的な方向でできることを考えてほしい。

○耳だこになるほど、機会を見つけては、この様な講座を開いたりすることは大切だと思います。(日頃からの知識や情報を得る事)

○こうした実体験のお話を伺うことで常に災害を意識したほうが良いと思う。忘れたころに災害はやって来る。企画してくださった方々に感謝します。

○防災・減災にチョットだけでも良いから関心を持ちたい。

5. この講座を何で知りましたか?(☑をつけてください。複数回答可)

☐ タウンニュース 4 ☐ みどりーむからの DM 案内 6

☐ 自治会からの案内(掲示板など) 1 ☐ 友人からの誘い 1 3 ☐ 緑区ホームページ 0

チラシ:☐ みどりーむ 7 ☐ 区役所 1 ☐ JR 駅 4 (中山、鴨居、十日市場 1、長津田 2)

☐ 地区センター 0、

☐ その他 6 (介護保険講座、部会、浦部さん、郵便局、グループ 2)

お差支えない範囲で記入をお願いします

お住まい= 緑区 _____ (町名)、 緑区以外 3 (若葉台 1) 無記入 2

中山 6、東本郷 3、三保 3、寺山 3、青砥 3 長津田みなみ台 2、森の台 1、白山 2、鴨居 1、霧が丘 1、北八朔 1、台村町 1

性別= 男性 1 1 女性 1 2 無記入 9

年齢= 20 代 1、30 代 2、 40 代 3、

50 代 2、60 代 1 0、70 代以上 1 3 その他無記入 1